



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月6日

上場会社名 株式会社 ニッセイ
 コード番号 6271 URL <http://www.nissei-gtr.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎剛寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 阿部正英
 定時株主総会開催予定日 2021年6月15日 配当支払開始予定日

TEL 0566-92-1151
 2021年5月26日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月15日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,548	6.2	228	73.8	382	236.0	288	27.8
2020年3月期	16,570	14.3	131	81.7	113	84.7	399	23.3

(注) 包括利益 2021年3月期 520百万円 (%) 2020年3月期 78百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	10.40		0.7	0.9	1.5
2020年3月期	14.39		0.9	0.3	0.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	44,743	42,020	93.9	1,515.32
2020年3月期	44,342	42,110	95.0	1,518.54

(参考) 自己資本 2021年3月期 42,020百万円 2020年3月期 42,110百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,831	2,780	617	12,686
2020年3月期	2,111	1,072	684	8,620

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		12.00		12.00	24.00	665	166.8	1.6
2021年3月期		10.00		10.00	20.00	554	192.3	1.3
2022年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00		118.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	10.0	600	162.7	660	72.7	470	62.9	16.95

2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した金額となっております。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	29,194,673 株	2020年3月期	29,194,673 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,464,472 株	2020年3月期	1,463,972 株
期中平均株式数	2021年3月期	27,730,349 株	2020年3月期	27,730,925 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,103	6.7	128	106.9	264	380.7	173	49.8
2020年3月期	16,184	14.2	62	88.7	55	90.7	344	10.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	6.23	
2020年3月期	12.43	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	%	円 銭	
2021年3月期	44,194		41,568	94.1	1,499.04			
2020年3月期	44,056		41,864	95.0	1,509.67			

(参考) 自己資本 2021年3月期 41,568百万円 2020年3月期 41,864百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年5月24日(月)にアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

(決算説明会開催について)

当社では、現時点でアナリスト向け説明会の開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、延期および中止の可能性があります。今後の説明会の開催情報については、当社のウェブサイトをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 補足情報	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状況にありますが、第2四半期以降持ち直しの動きが続いております。設備投資においても、生産の回復による企業収益の立ち直りにより、持ち直しつつあります。

また、米国経済は、ワクチン接種が順調に進展し、大規模な経済対策の実施が見込まれるなど、景気回復が期待されます。中国経済は、景気は緩やかに回復しており、今後も続くことが期待されています。

このような状況の中、当社グループにおきましては、当連結会計年度の売上高は、15,548百万円（前連結会計年度比6.2%減）となりました。

利益面におきましては、売上減少となったものの、売上構成の変化や固定費の削減により、営業利益228百万円（同73.8%増）、経常利益は助成金の収入や為替差益により382百万円（同236.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は保有株式の売却による特別利益が減少したことにより288百万円（同27.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 減速機

国内売上は、第3四半期より工作機械など一部の業種で回復したものの、年間を通しては新型コロナウイルス感染症による経済失速の影響が色濃く残り厳しい状況が続いた結果、7,963百万円（同15.3%減）となりました。また、海外売上は新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、米国、中国向けの売上が増加したことにより、3,376百万円（同11.0%増）となり、減速機合計は、11,339百万円（同8.9%減）となりました。

利益面におきましては、売上減少に伴う粗利益の減少により、セグメント利益は114百万円（同55.5%減）となりました。

② 歯車

国内売上は、新型コロナウイルス感染症に伴う影響を受け、工作機械・自動車向けの売上が減少しましたが、中国市場の復調に伴うロボット向け及び巣ごもり需要における電動工具向けの売上が増加したことにより、3,830百万円（同0.7%増）となりました。海外売上は、ロボット向けの売上が増加したことにより、230百万円（同40.2%増）となり、歯車合計は4,060百万円（同2.3%増）となりました。

利益面におきましては、売上増加に伴う粗利益の増加、固定費の削減等により、セグメント利益は15百万円（前連結会計年度はセグメント損失226百万円）となりました。

③ 不動産賃貸

愛知県名古屋市内に賃貸マンション2棟を運営しております。売上高は148百万円（同2.5%減）、セグメント利益は98百万円（同2.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は23,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ304百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4,066百万円、棚卸資産が175百万円増加した一方で、有価証券が3,998百万円減少したことによるものであります。固定資産は21,368百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が783百万円増加した一方で、機械装置及び運搬具が635百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は44,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ466百万円増加いたしました。これは主に買掛金が134百万円、賞与引当金が170百万円、未払金が93百万円増加したことによるものであります。固定負債は115百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は2,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ491百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は42,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少いたしました。これは主に配当金支払い等による利益剰余金の減少321百万円とその他の有価証券評価差額金の増加148百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は93.9%（前連結会計年度95.0%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が358百万円（前連結会計年度比29.5%減）、有価証券の売却及び償還による収入が6,600百万円あった一方で、投資有価証券の取得による支出が3,222百万円あったことなどにより、前連結会計年度末に比べ4,066百万円増加し、当連結会計年度末には12,686百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,831百万円（同13.3%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益358百万円、減価償却費1,486百万円、賞与引当金の増加額170百万円、たな卸資産の増加△150百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は2,780百万円（同159.3%増）となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入6,600百万円、投資有価証券の取得による支出3,222百万円、有形固定資産の取得による支出583百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は617百万円（同9.7%減）となりました。これは主に、配当金の支払額610百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通せず、一定の経済活動抑制を余儀なくされると思われませんが、製造業を中心とした設備投資需要は持ち直しの動きが続くことが期待されます。

このような環境の中、翌連結会計年度（2022年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高17,100百万円（前連結会計年度比10.0%増）、営業利益600百万円（同162.7%増）、経常利益660百万円（同72.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益470百万円（同62.9%増）を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1米ドル＝106円、1中国元＝16.0円を想定しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,623	12,690
受取手形及び売掛金	3,261	3,428
電子記録債権	1,092	1,006
有価証券	6,598	2,600
製品	361	486
仕掛品	2,159	2,312
原材料及び貯蔵品	907	804
その他	68	46
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,071	23,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,615	5,405
機械装置及び運搬具（純額）	4,429	3,794
土地	2,902	2,902
リース資産（純額）	2	10
建設仮勘定	66	303
その他（純額）	187	168
有形固定資産合計	13,204	12,584
無形固定資産	350	257
投資その他の資産		
投資有価証券	5,982	6,765
退職給付に係る資産	95	78
繰延税金資産	166	154
事業保険積立金	1,437	1,493
その他	33	32
投資その他の資産合計	7,715	8,525
固定資産合計	21,270	21,368
資産合計	44,342	44,743

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	644	778
リース債務	7	2
未払金	106	199
未払費用	503	544
未払法人税等	130	151
賞与引当金	500	671
役員賞与引当金	13	30
製品保証引当金	—	52
その他	236	177
流動負債合計	2,141	2,608
固定負債		
リース債務	1	8
繰延税金負債	0	0
退職給付に係る負債	81	84
資産除去債務	—	16
その他	6	5
固定負債合計	89	115
負債合計	2,231	2,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,475	3,475
資本剰余金	2,575	2,575
利益剰余金	36,939	36,618
自己株式	△1,287	△1,288
株主資本合計	41,703	41,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	414
繰延ヘッジ損益	2	△4
為替換算調整勘定	143	235
退職給付に係る調整累計額	△5	△7
その他の包括利益累計額合計	407	639
純資産合計	42,110	42,020
負債純資産合計	44,342	44,743

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	16,570	15,548
売上原価	12,960	11,932
売上総利益	3,610	3,615
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	402	385
従業員給料及び賞与	982	951
賞与引当金繰入額	100	149
役員賞与引当金繰入額	13	30
退職給付費用	34	38
福利厚生費	235	229
減価償却費	265	229
試験研究費	510	411
製品保証引当金繰入額	—	52
その他	934	908
販売費及び一般管理費合計	3,478	3,387
営業利益	131	228
営業外収益		
受取利息	33	26
受取配当金	26	13
為替差益	—	59
物品売却益	34	37
助成金収入	—	56
その他	12	29
営業外収益合計	107	223
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	70	58
為替差損	52	—
デリバティブ評価損	1	8
その他	1	2
営業外費用合計	125	69
経常利益	113	382
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	405	37
特別利益合計	410	38
特別損失		
固定資産売却損	—	3
減損損失	—	50
固定資産除却損	11	9
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	16	63
税金等調整前当期純利益	507	358
法人税、住民税及び事業税	99	118
法人税等調整額	9	△49
法人税等合計	108	69
当期純利益	399	288
親会社株主に帰属する当期純利益	399	288

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	399	288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399	148
繰延ヘッジ損益	2	△6
為替換算調整勘定	△60	91
退職給付に係る調整額	△20	△1
その他の包括利益合計	△478	232
包括利益	△78	520
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△78	520
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,475	2,575	37,205	△1,287	41,969
当期変動額					
剰余金の配当			△665		△665
親会社株主に帰属する当期純利益			399		399
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△266	△0	△266
当期末残高	3,475	2,575	36,939	△1,287	41,703

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計
当期首残高	665	0	204	14	885
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△399	2	△60	△20	△478
当期変動額合計	△399	2	△60	△20	△478
当期末残高	266	2	143	△5	407

	純資産合計
当期首残高	42,855
当期変動額	
剰余金の配当	△665
親会社株主に帰属する当期純利益	399
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△478
当期変動額合計	△744
当期末残高	42,110

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,475	2,575	36,939	△1,287	41,703
当期変動額					
剰余金の配当			△610		△610
親会社株主に帰属する当期純利益			288		288
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	△321	△0	△322
当期末残高	3,475	2,575	36,618	△1,288	41,380

	その他の包括利益累計額				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計
当期首残高	266	2	143	△5	407
当期変動額					
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益					
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	148	△6	91	△1	232
当期変動額合計	148	△6	91	△1	232
当期末残高	414	△4	235	△7	639

	純資産合計
当期首残高	42,110
当期変動額	
剰余金の配当	△610
親会社株主に帰属する当期純利益	288
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	232
当期変動額合計	△89
当期末残高	42,020

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	507	358
減価償却費	1,671	1,486
減損損失	—	50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△103	170
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	17
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	52
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	2
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2	15
受取利息及び受取配当金	△60	△40
助成金収入	—	△56
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△405	△37
固定資産売却損益 (△は益)	△5	2
固定資産除却損	11	9
売上債権の増減額 (△は増加)	487	△57
たな卸資産の増減額 (△は増加)	124	△150
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69	106
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18	14
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△97	△10
未払消費税等の増減額 (△は減少)	95	△90
その他	35	△5
小計	2,155	1,836
利息及び配当金の受取額	76	35
利息の支払額	△0	△0
助成金の受取額	—	56
法人税等の支払額	△121	△97
法人税等の還付額	1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,111	1,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△99	—
有価証券の売却及び償還による収入	5,002	6,600
有形固定資産の取得による支出	△903	△583
有形固定資産の売却による収入	22	3
有形固定資産の除却による支出	△1	△5
無形固定資産の取得による支出	△43	△50
投資有価証券の取得による支出	△3,431	△3,222
投資有価証券の売却及び償還による収入	542	83
定期預金の預入による支出	△0	△0
保険積立金の積立による支出	△71	△69
保険積立金の解約による収入	55	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,072	2,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△18	△7
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△665	△610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684	△617
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,446	4,066
現金及び現金同等物の期首残高	6,173	8,620
現金及び現金同等物の期末残高	8,620	12,686

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「デリバティブ評価損」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた2百万円は、「デリバティブ評価損」1百万円、「その他」1百万円として組み替えております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

翌連結会計年度以降においては、ワクチン接種等の感染拡大の防止策が講じられるものの、変異株による感染の急拡大などにより収束時期は見通せず、一定の経済活動抑制を余儀なくされると思われま

す。当社グループを取り巻く環境としては、製造業を中心とした設備投資需要は持ち直しの動きが続くことが期待されており、当社グループの業績に与える経済活動抑制の影響は限定的なものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性に係る会計上の見積りを行っております。

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当連結会計年度の年度末に係る連結財務諸表から適用しておりますが、翌連結会計年度の財務諸表に重要な影響を及ぼす見積りが存在しないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に動力伝導装置等の生産・販売と不動産賃貸事業を展開しております。動力伝導装置等の生産・販売につきましては、製品別の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は製品・サービス別のセグメントから構成されており、「減速機」、「歯車」並びに「不動産賃貸」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,449	3,968	151	16,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	12,449	3,968	151	16,570
セグメント利益又は損失(△)	257	△226	100	131
セグメント資産	12,228	4,541	586	17,357
その他の項目				
減価償却費	1,121	529	21	1,671
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	334	261	0	596

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却費が含まれております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：百万円）

	減速機	歯車	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,339	4,060	148	15,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,339	4,060	148	15,548
セグメント利益	114	15	98	228
セグメント資産	11,802	4,700	566	17,069
その他の項目				
減価償却費	987	478	19	1,486
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	243	93	—	337

（注）減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却費が含まれておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,357	17,069
全社資産（注）	26,984	27,674
連結財務諸表の資産合計	44,342	44,743

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない有価証券及び投資有価証券であります。

（単位：百万円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	596	337	167	207	763	545

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、一般間接部門並びに研究開発部門の設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

日本	米国	中国	アジア	ヨーロッパ	合計
13,363	1,235	881	1,038	50	16,570

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算上の売上高の10%以上を占める外部顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	中国	アジア	ヨーロッパ	合計
11,941	1,467	1,097	1,010	30	15,548

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算上の売上高の10%以上を占める外部顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

(単位：百万円)

	減速機	歯車	不動産賃貸	全社・消去	合計
減損損失	—	50	—	—	50

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,518.54円	1,515.32円
1株当たり当期純利益	14.39円	10.40円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	399	288
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	399	288
期中平均株式数(千株)	27,730	27,730

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 経営成績

(百万円未満切捨、%)

区分	前期 (2019.4~2020.3)		当期 (2020.4~2021.3)		増減 (当期-前期)		次期予想 (2021.4~2022.3)	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率	金額	売上比
売上高	16,570	100.0	15,548	100.0	△1,021	△6.2	17,100	100.0
営業利益	131	0.8	228	1.5	96	73.8	600	3.5
経常利益	113	0.7	382	2.5	268	236.0	660	3.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	399	2.4	288	1.9	△110	△27.8	470	2.7

(2) セグメント別売上高及びセグメント別利益

(百万円未満切捨、%)

区分		前期 (2019.4~2020.3)		当期 (2020.4~2021.3)		増減 (当期-前期)		次期予想 (2021.4~2022.3)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
減速機	国内売上	9,407	75.6	7,963	70.2	△1,443	△15.3	8,970	72.6
	海外売上	3,042	24.4	3,376	29.8	334	11.0	3,380	27.4
	計	12,449	100.0	11,339	100.0	△1,109	△8.9	12,350	100.0
	営業利益	257	2.1	114	1.0	△142	△55.5	400	3.2
歯車	国内売上	3,804	95.9	3,830	94.3	25	0.7	4,360	94.8
	海外売上	164	4.1	230	5.7	66	40.2	240	5.2
	計	3,968	100.0	4,060	100.0	91	2.3	4,600	100.0
	営業利益	△226	△5.7	15	0.4	242	—	150	3.3
不動産 賃貸	国内売上	151	100.0	148	100.0	△3	△2.5	150	100.0
	海外売上	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	151	100.0	148	100.0	△3	△2.5	150	100.0
	営業利益	100	66.1	98	66.3	△2	△2.1	50	33.3
全社	国内売上	13,363	80.6	11,941	76.8	△1,422	△10.6	13,480	78.8
	海外売上	3,206	19.4	3,606	23.2	400	12.5	3,620	21.2
	計	16,570	100.0	15,548	100.0	△1,021	△6.2	17,100	100.0
	営業利益	131	0.8	228	1.5	96	73.8	600	3.5

(注) 営業利益の構成比は当該セグメントの売上高比であります。

(3) 設備投資額、減価償却費及び研究開発費

(百万円未満切捨、%)

区分	前期 (2019.4~2020.3)	当期 (2020.4~2021.3)	増減 (当期-前期)		次期予想 (2021.4~2022.3)
			金額	増減率	
設備投資額	763	545	△217	△28.6	3,100
減価償却費	1,671	1,486	△185	△11.1	1,530
研究開発費	510	411	△98	△19.4	380